

西丸震哉記念館 2018 年度企画展

余色立体地図でみる

西丸震哉の日本百山

重要な旧石器遺跡・ナウマンゾウの足跡

会期：2018年4月28日（土）から10月29日（月）

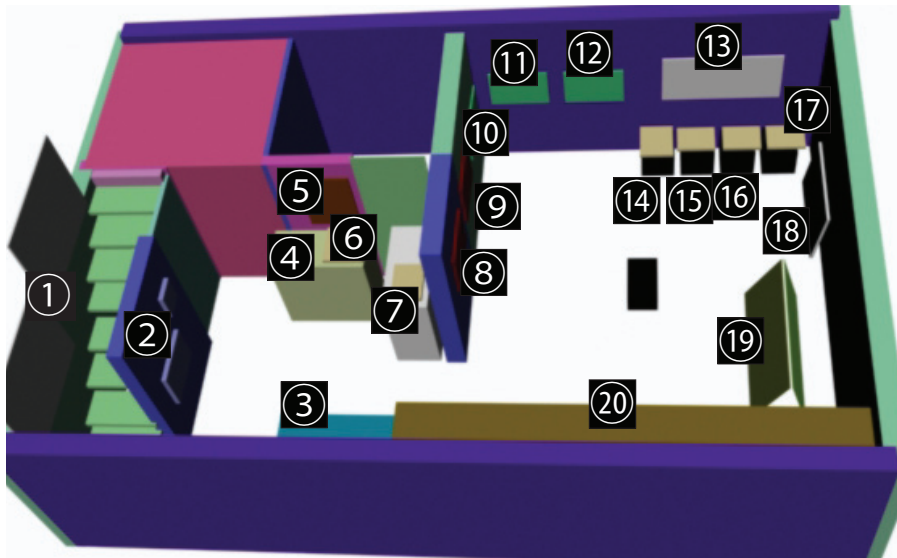
『西丸震哉の日本百山』（実業之日本社、1998年）は手書きの池塘を巡る地図と合わせ、氏の探検登山の足跡を伝えてくれます。百山のイラストは『机上登山』（博品社、1998年）からで、氏の登山スタイルとメッセージを伝えてくれます。

余色立体地図は、付属の余色メガネ（青色を右目）で見ると、中部日本や各地の大地形を確認でき、より多くを理解するために塩の立体図も用意しました。

西丸氏は70年代小川村の秋葉山荘からは北アルプスほぼ全域をながめ、80年代以降は現北杜市明野山荘から南アルプスの眺望を愉しみつつ、それら地域へも貢献しました。

1・2階展示 西丸震哉山岳画・立体視空中写真など

地階展示内容



一階入口展示 中部日本の余色立体地図と塩の立体図でみる西丸震哉の日本百山（赤点は火山）

展示内容

- ①西丸百山常設展示 ②大町の水源地
- ③④西丸震哉山道具
- ⑤北海道・東北余色立体地図パネル ⑥北海道塩立体図 ⑦東北塩立体図
- ⑧西丸震哉の日本百山データ ⑨データ解説
- ⑩⑪⑫百山該当写真（伊藤雅章：山岳部長撮影） ⑬木崎小丸山遺跡の紹介と余色立体地図で見る重要旧石器遺跡・ナウマンゾウの足跡
- ⑭～⑰該当塩立体図
- ⑱映像コーナー ⑲西丸イラストテント ⑳山と人（浅井裕介作）